

施策番号	2603		
施策名	市民への応急手当の普及啓発と救急体制の充実による救命効果の向上		
概要	事故や災害等から市民を守り，救命効果を向上させるため，応急手当のできるひとづくりを推進するとともに，高度な救急活動体制を構築する。		
担当局・部室	消防局・安全救急部	共管局・部室	
上位政策	26 消防・防災		
施策に関する 主な分野別計画等			

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	25年度	26年度	27年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト	
1 応急手当の知識や技術を身につけた市民の 数(人)	a	a	36,696	37,951	34,000	111.6%	a	1.00	
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	27年度回答					有効回答 者数	評価
	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない		
1 応急手当の知識や技術を備えたひとが増えている。	32	135	218	53	33	471	c
	6.8%	28.7%	46.3%	11.3%	7.0%		
2 -							-
3 -							-
4 -							-
5 -							-
						市民生活実感調査総合評価	c

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					26 年度	B
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 消防・防災施策については、市民にとって平常時には実感を得にくいものであることから、客観指標を重視する。						25 年度	B
(原因分析) 【客観指標】応急手当の知識や技術を身につけた市民の数については、平成26年度は学校長会や保育園等において救命講習の受講勸奨を行った結果、受講者数が目標値を上回り、3年連続a評価と安定して高い評価となっている。 【市民の実感】実際に救命講習を受講した人の数は増えているものの、市民が十分に実感するほどには達していないと考えられ、c→c評価となっている。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		27年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		26年度 決算額	27年度 予算額		
1	救急高度化事業	581,680	566,621	良い	消防局
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- 小学5・6年生に救命入門コースを、また中学生・高校生に対して普通救命講習の受講を促進するため、学校長会における受講勸奨を継続して実施する。
- 救命講習の受講機会を積極的に提供するため、定員をこれまでより増加させた講習会を一部で実施していく。

施策名	2603	市民への応急手当の普及啓発と救急体制の充実による救命効果の向上				
指標名	応急手当の知識や技術を身につけた市民の数（人）					
担当課	安全救急部救急課	連絡先	212-6702			
1 指標の説明						
京都市消防局が実施する救命講習の受講者数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
救命効果の向上に資する市民の応急手当への対応力を示す指標			算出方法：上級救命講習受講者数＋普通救命講習受講者数 出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	25年度	26年度		数値	根拠	達成度
数値	36,696	37,951	1,255人増	34,000	単年度に目標とする受講者数	111.6%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値						
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：90%以上100%未満 c：80%以上90%未満 d：70%以上80%未満 e：70%未満		・目標値を達成すればa評価 ・以下10%刻みでb～e評価		25	26	27
				a	a	a